

2001 年

論文

* 学術雑誌 (筆頭著者)

[ナリジクス酸耐性Shigella sonoiの増加とその耐性機構；内村眞佐子、岸田一則、小岩井健司\(2001\)：感染症学雑誌, 75,923-930.](#)

イランにおけるピスタチオナッツの生産の現状；高橋治雄、岡野清志、一戸正勝(2001)：Mycotoxins, 51(2),95-102.

* 学術雑誌 (共著)

[Identification of soecies in Aspergillus section Flavi based on seqencing of the mitochondrial cytochrome b gene ; L.Wang, K.Yokoyama, H.Takahashi, N.Kase, Y.Hanaya, K.Yashiro, M.Miyaji and K.Nishimura\(2001\)：International J. Food Microbiology, 71,75-86.](#)

* 情報誌等

「牛の丸焼き」を原因食品とする腸管出血性大腸菌O157による集団発生—千葉県；山本準子、石川淳、宮本美紀子、野村隆司、内村眞佐子、小岩井健司：病原微生物検出情報, 22,139-140.

学会発表

イエネズミから分離した SalmonellaTyphimurium の性状解析；横山栄二、光眞明子、中川かほる、壁谷英則、三上彪、勝部泰次、丸山総一：平成 13 年度関東地区獣医公衆衛生学会（関東大会）

原発性敗血症 3 症例から分離された Vibrio vulnificus の性状；横山栄二、小岩井健司：第 35 回腸炎ビブリオシンポジウム

食中毒調査における DNA フィンガープリント法の重要性；横山栄二、岸田一則：平成 12 年度千葉県獣医学会

食品から TDH 陽性株が分離された腸炎ビブリオ食中毒における分子疫学的解析による原因食品の特定；横山栄二：平成 12 日本獣医公衆衛生学会年次総会

千葉県東葛飾地域を中心に発生した腸管出血性大腸菌 O157:H7 による広域集団感染事例；内村眞佐子、横山栄二、岸田一則、依田清江、久門勝利、小岩井健司：第 22 回日本食品微生物学会